



Care for All

**Effective Patient Communication
for Healthcare Workers**

Hiroaki Tanaka / Kaoru Masago

写真提供：Istock Photo

画像提供：DMM 英会話

(Units 1-15 Pronunciation Box画像)

音声ファイルのダウンロード/ストリーミング

CD マーク表示がある箇所は、音声を弊社 HP より無料でダウンロード/ストリーミングすることができます。下記 URL の書籍詳細ページに音声ダウンロードアイコンがございますのでそこから自習用音声としてご活用ください。

<https://seibido.co.jp/ad724>



Care for All

—Effective Patient Communication for Healthcare Workers—

Copyright © 2025 by Hiroaki Tanaka, Kaoru Masago

All rights reserved for Japan.

*No part of this book may be reproduced in any form
without permission from Seibido Co., Ltd.*

はしがき

本書は看護やリハビリテーションを学ぶ学生のみなさんのための、病院での英会話表現を学ぶテキストです。本書での会話はサブタイトル **Patient Communication** とあるように、外国人患者さんと未来の医療従事者であるみなさんが上手にそして効果的に意思疎通ができるようになることを目指しています。

本書の特徴は、専門用語の使用はあえて抑え、高校までで学習した簡単で分かりやすい英語表現を使うことで、中学・高校と英語が苦手だった人でも学びやすいように工夫しました点です。英語での専門用語の習得は将来的な目標として重要ですが、まずは第一歩として、自分の知っている英語表現を使って外国人患者さんと積極的にコミュニケーションをとってみましょう。

また本書は英語が苦手な人でも学びやすいように、積み上げ式に理解を深める構成になっています。まず「**A. Warm Up**」で各テーマの導入を行った後、語彙を学習し、その **Unit** でポイントになる発音の練習を行います。それを踏まえて、「**C. Useful Expressions for Patient Communication**」で英会話の表現を学びながら、簡単な文法事項の確認を行います。続く「**D. Patient Communication**」で臨床現場を意識した短めの英会話の演習があります。その後、英文読解を通して各テーマへの理解を深めた後、「**F. Role Play**」で患者と医療従事者に分かれたコミュニケーション演習を行います。このように本書は基礎的な内容理解を基に、それを英語でのコミュニケーションにまで発展できるように工夫しています。

本書のもう一つの特徴は、テーマごとの英語表現を学習するだけでなく、それに関連する医療に関する豆知識や実際の臨床現場で働く先輩からのメッセージを取り入れた点です。例えば「**D. Patient Communication**」の「**notes**」では、英単語の意味の注釈だけでなく、それにまつわる日本と海外での医療の違い、異文化理解、そして発展的な医療の知識も学習できるようになっています。また各 **Unit** の最後には「臨床現場からのメッセージ」として、実際に病院などの臨床現場で働くみなさんの先輩にあたる看護師や技師からのアドバイスも掲載しています。医療は座学で学んだ理論や技術を臨床に応用する学問分野です。テキストで学んだ内容が実際の医療現場ではどのように活かされているのか先輩のメッセージから読み取ってください。

本書は看護師や技師の先生方に監修していただき、できるだけリアルな患者と医療従事者とのコミュニケーションになるようにしました。もちろん入門用のテキストですから、表現は分かりやすくシンプルにしています。未来の看護師や技師としての自分をイメージしながら学習を進めると、学習もリアルなものになるでしょう。

Care for All

Effective Patient Communication for Healthcare Workers

目次

UNIT 1

p.2



Is this your first visit to this hospital?

挨拶と窓口対応を試みよう。

UNIT 2

p.7



What's the matter with you?

身体のどこに問題があるのか尋ねてみよう。

UNIT 3

p.12



I'm going to take a blood sample

採血をしよう。

UNIT 4

p.17



Let me explain our daily routine

入院生活の流れを説明しよう。

UNIT 5

p.22



I'm going to ask you about your lifestyle habits

生活習慣や宗教上の制限を確認しよう。

UNIT 6

p.27



Have you had any surgeries before?

病歴を確認しよう。

UNIT 7

p.32



Do you have any allergies?

アレルギーの有無を確認しよう。

UNIT 8

p.37



How would you describe the pain?

どのような痛みがあるか確認しよう。

UNIT 9

p.42



How much can you move your legs?

可動域を確認しよう。

UNIT 10

p.47



Let's start practicing getting into the wheelchair

車いすへの移乗介助をしよう。

UNIT 11

p.52



Let's make the walks longer

歩行トレーニングをしよう。

UNIT 12

p.57



You're from Australia, aren't you?

患者さんと雑談をしよう。

UNIT 13

p.62



Are you Ms. Brown?

家族の方とコミュニケーションをとろう。

UNIT 14

p.67



Rehabilitation can be challenging

リハビリがうまくいかず落ち込む患者さんを励まそう。

UNIT 15

p.72



By working together, we can ease your concerns

手術前で不安な患者さんを元気づけよう。

本書の使い方

A Warm Up

各 Unit のメインテーマについて日本語で示し問題提起をしています。学習を始める前に良く読んで考えてみましょう。また、ペアやグループで話し合ってみるのも良いでしょう。

B Vocabulary

各 Unit それぞれのキーワードとも言える語句の確認です。意味を確認しておきましょう。また音声で発音の確認もしましょう。

Pronunciation Box

Vocabulary に登場する語句に関連する発音のポイントを紹介しています。ポイントに注意しながら各自で練習をしてみましょう。

C Useful Expressions for Patient Communication

Healthcare Worker と患者の間でよく使われる表現を各 Unit ごとに確認しましょう。まずは日本語ではどんな意味になるのか確認し、発音に注意しながら声に出して読んでみましょう。

Grammar Box

Useful Expressions for Patient Communication で取り上げた英文の文法について確認しましょう。練習問題も用意していますので理解できたかどうかの確認をしましょう。

D Patient Communication

各 Unit のメインの会話となっています。ここまでの学習を踏まえてまずは会話文を完成し、その後音声を繰り返し聞いて Healthcare Worker の表現も患者の表現も使えるようにしましょう。

E Reading Comprehension

ここでは英文読解に挑戦しましょう。各 Unit のここまでの学習をヒントに英文を読み、設問に答えて理解力を確かめましょう。

F Role Play

メインの会話とは違った場面設定で身に付けた表現がうまく使えるか確かめましょう。

p.77 からの指さし英会話

Role Play を更に発展させた演習活動ができます。また臨床に出てからも役に立つ表現が満載です。学習が終わってからも本書を臨床現場に持っていけば、外国人患者とのコミュニケーションに役立ちます。



《 Units 1-15 》

Is this your first visit to this hospital?



A Warm Up

患者さんは病院に到着したら、まず受付で各種手続きをします。その際にどのようなものが必要でしょうか？また、日本国籍を持たない外国人の場合はどうでしょうか？ペアで考えましょう。

B Vocabulary



以下の英単語の意味を選択肢の日本語を記号で選びましょう。

- | | | | |
|------------------------------|-----|---------------------------|-----|
| 1. consider | [] | 2. prepare | [] |
| 3. fill out | [] | 4. patient form | [] |
| 5. overseas travel insurance | [] | 6. medical insurance card | [] |

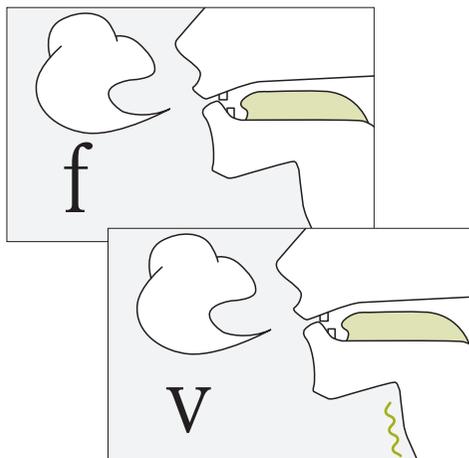
選択肢

- a. 問診票 b. 医療保険証 c. 海外旅行保険 d. 考慮する e. 記入する f. 準備する

Pronunciation Box

[f] と [v]

patient form や overseas travel insurance にそれぞれ [f] と [v] の発音が含まれています。違いに注意して丁寧に発音しましょう。
 [f]: 無声音なので、上の前歯を下の唇に当てながら息を吐き出して発音します。
 [v]: 有声音なので、[f] の発音のまま喉を震わせて音を出します。



C Useful Expressions for Patient Communication

以下は患者さんとの英語コミュニケーションでよく使用される表現です。正しい意味を選択肢から選びましょう。

Healthcare Worker の表現

1. Is this your first visit to this hospital? []

2. Do you have a Japanese medical insurance card? []

3. Please fill out this patient form. []

Patient の表現

4. I'd like to see a doctor. []

5. I have overseas travel insurance. []

6. Here is my card. []



選択肢

- a. 日本の医療保険証をお持ちですか？
- b. こちらの問診票にご記入ください。
- c. この病院に来るのは初めてですか？
- d. これが私のカードです。
- e. 医師に診てもらいたいです。
- f. 海外旅行保険に加入しています。



Grammar Box

疑問文

is, am, are を be 動詞と呼び、平叙文の主語と be 動詞の位置を入れ替えて「be 動詞 + 主語～?」の形で疑問文を作ります。それ以外の一般動詞は「Do / Does + 主語 + 動詞～?」の形で疑問文を作ります。

例：Are you his nurse today? 「あなたは今日の彼の担当看護師ですか？」

例：Do you work on weekends? 「週末に仕事をしていますか？」

Exercise 次の日本語を英語に直しましょう。

1. これはあなたのかばんですか？

.....

2. 看護師たちはあなたに親切ですか？

.....

D Patient Communication



① 音声をよく聞き、空欄に正しい英単語を入れましょう。

Healthcare Worker: Good afternoon.

Patient: Good afternoon. I'd like to see a doctor.

Healthcare Worker: Is this your first ¹() to this hospital?

Patient: Yes, it is. This hospital is near my hotel.

Healthcare Worker: I see. Do you have a Japanese ²() insurance* card?

Patient: No, but I have overseas ³() insurance. Here is my card.

Healthcare Worker: Thank you. Please fill out this ⁴() ⁵(). We have an English version.

Patient: OK. Thank you.

notes

医療制度は国ごとに異なります。日本国民は全員が公的な健康保険に加入していますが、アメリカでは多くの現役世代が公的保険の対象外のため、無保険者も多く、格差が見られます。

② 以下のステップに沿って、患者さんとの英語コミュニケーションの練習をしましょう。

Step 1. 音声に続いて会話練習（リピーティング）をしましょう。

Step 2. 先ほどのダイアログに沿って、ペアで英語コミュニケーションの練習をしましょう。



E Reading Comprehension

① 英文を読んで、設問の内容が正しい場合は T, 誤っている場合は F を選びましょう。

Three Key Points for Foreign Patient Care

When foreign patients come to Japanese hospitals, healthcare workers should consider three important points:

1. Language

Most foreign patients do not speak Japanese. Healthcare workers should be familiar with basic English phrases. Also, they should prepare patient forms in different languages.

2. Culture

Healthcare workers need to understand cultural differences. For example, Muslim* patients avoid pork and alcohol. This is important because healthcare workers cannot use alcohol for disinfection*.

3. System

Foreign travelers are not covered by Japan's National Health Insurance*. So healthcare workers should confirm whether they have overseas travel insurance.



notes

Muslim / イスラム教の, disinfection / 消毒,

Japan's National Health Insurance / 日本の国民健康保険

1. Healthcare workers do not need to learn English, because they can use patient forms in different languages. [T/F]
2. Muslim patients may refuse disinfection by alcohol. [T/F]
3. Foreign travelers in Japan are automatically supported by Japan's National Health Insurance. [T/F]

② 以下の Healthcare Worker の発言は上の英文の 1. language, 2. culture, あるいは 3. system のどれに当てはまるか考えましょう。

1. "Do you have a Japanese medical insurance card?" ()
2. "Please fill out this English patient form." ()
3. "Can I use alcohol for disinfection?" ()

F Role Play

以下の2つのシーンで患者さんが病院の窓口で用件を伝えています。例を参考にして、今まで学習した表現を使って英語コミュニケーションの練習をしましょう。

Scene 1



(Example)
see a doctor

Healthcare Worker: Good afternoon.

Patient: Good afternoon. I'd like to see a doctor.

Healthcare Worker: Is this your first visit to this hospital?

Patient: Yes, it is.

Healthcare Worker: I see. Please fill out this patient form.

Patient: Thank you.

Scene 2

receive a drug



.....

.....

.....

.....

臨床現場からのメッセージ 1

「スマホ翻訳は使えるの??」



私は看護師ですが、外国人患者さんの対応にスマホを使っていますよ。どちらかと言うと、こちらの言いたいことを伝えるよりも、患者さんにスマホを渡して、言いたいことを入力してもらうことが多いです。



私は作業療法士ですが、スマホの翻訳は使っていません。なぜなら翻訳された内容が100%あっているかどうか分からないからです。そもそもリハビリをしている時は両手がふさがっているので、スマホを操作できません。同僚の看護師や技師の間でも賛否はわかれます。スマホ操作に思いのほか時間がかかってしまい、結局、医療処置の時間が遅れてしまうことがあるそうです。また意図した翻訳にならない時はやり直し作業が必要になり、やはり手間がかかってしまい、だんだん必要最低限しか話さなくなってしまうという弊害もあるそうです。スマホの使用をやめて、手書きのカードでの指さし会話に戻っているスタッフもいます。自分の言葉で話せるのが一番だと感じました。